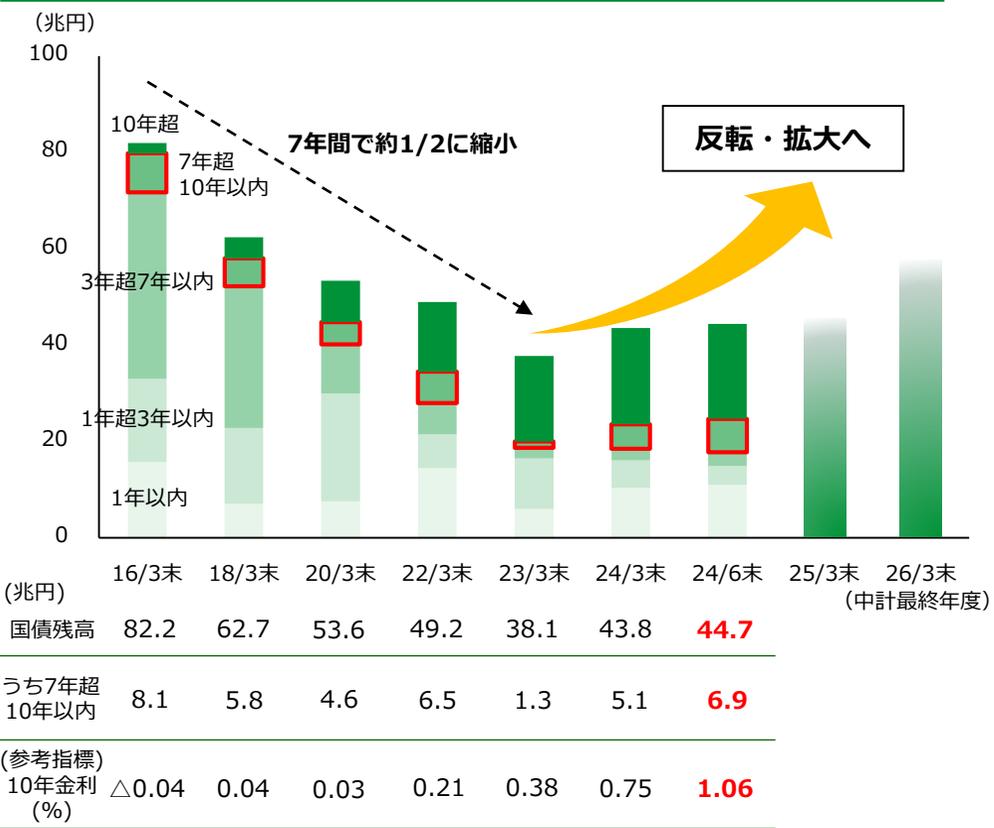


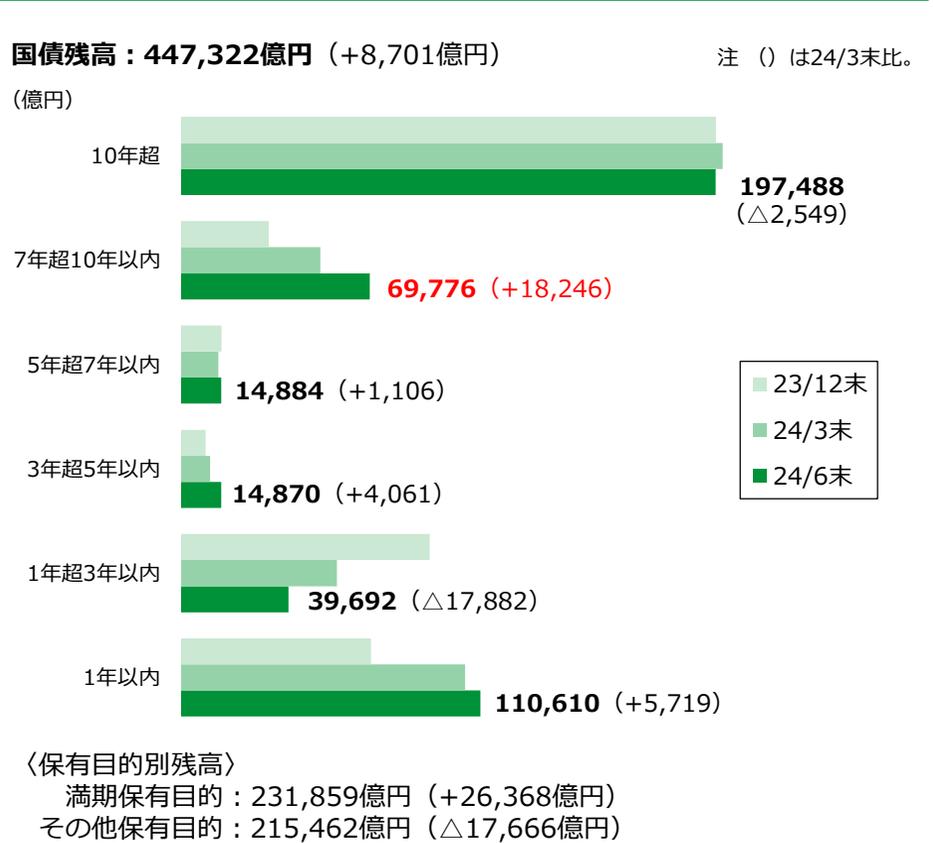
エグゼクティブ・サマリー：④円金利ポートフォリオの再構築

円金利の上昇トレンドへの反転を捉え、預け金等から国債への投資シフトを推進し、円金利ポートフォリオを再構築。低金利環境の下で減少してきた国債残高は2023年6月末を底に反転・拡大し、順調な進捗。

国債保有残高※



残存期間別の国債残高※ (24年6月末)



※ 金銭の信託で保有する国債は含まない。

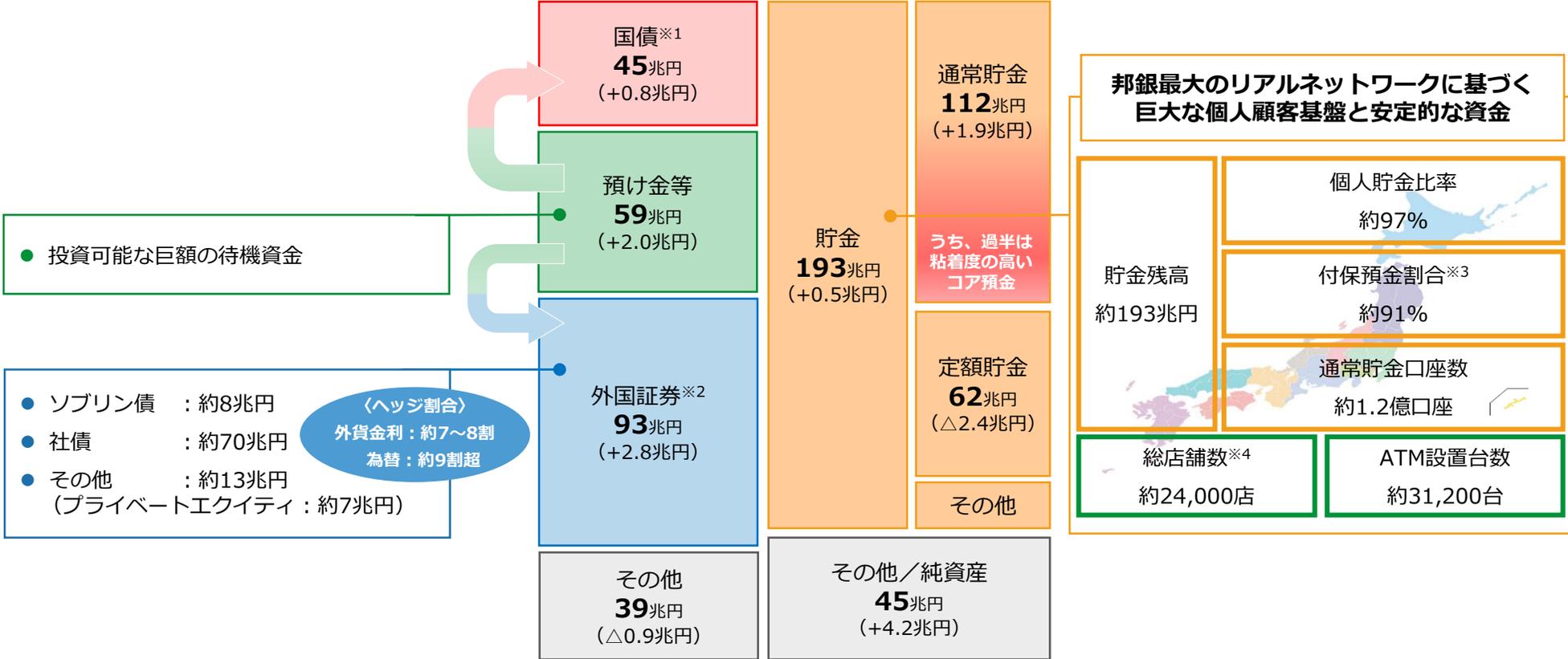
エグゼクティブ・サマリー：⑤ALM運営の方向性

小口の個人貯金を中心とする安定的な資金調達基盤・貯金残高を維持・継続。

リスク管理を深化しつつ、円金利資産（日本国債、預け金等）とリスク性資産（外国証券等）を組み合わせた最適な運用ポートフォリオを追求。

〈当行B/S（単体）〉 総資産 **238兆円**（+4.7兆円）

注 24/6末時点、（）は24/3末比。

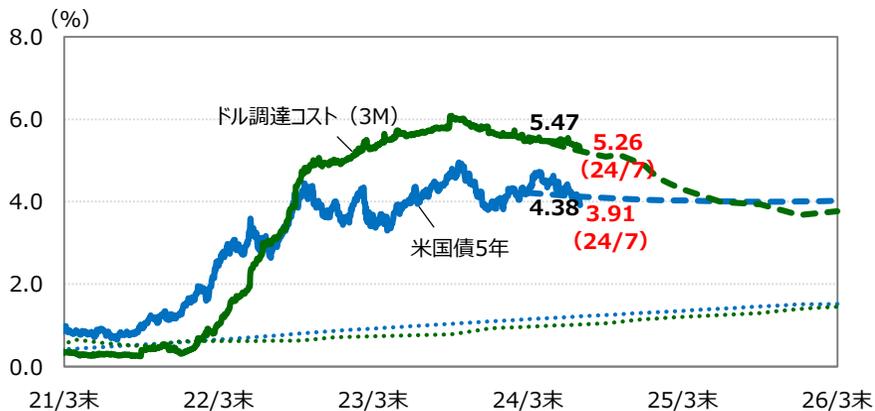


※1 金銭の信託で保有する国債を含む。
 ※2 金銭の信託で保有する不動産ファンド、ダイレクトレンディングファンド、インフラデットファンドを含む。
 ※3 預金保険法に定められた預金保険制度対象預金等相当額（概数）が貯金残高に占める割合。
 ※4 郵便局数を含む。

利益計画の前提条件

- 内外金利については、24年3月末のインプライド・フォワードレート※1に沿って推移する想定。
- 海外のクレジットスプレッド※2及び為替については、概ね24年3月末の水準で安定的に推移する想定。

内外金利／ドル調達コスト



※1 2024年3月末時点の市場金利（イールドカーブ）から理論的に算出された将来の予測金利。
 ※2 国債などの基準金利に対し、発行体の債務返済能力に応じて上乗せされる金利。

米国IG※3・HY※4社債スプレッド／ドル円レート



— 実績 - - - 見直し後の中計の想定 (参考) 見直し前の中計の想定